



画家プロフィール：高橋聖大（たかはし しょうた）1990. 7. 13 松戸市生まれ。2014 年多摩美術大学絵画学科日本画専攻を卒業。命の現像をテーマに優しい詩を読むような作品の製作に取り組んでいる。

原画は、からたち薬局に展示されています。

描かれている場所は、松戸市日暮5丁目「内海道公園」です。

今月の訪問看護師の活動報告

【あんず訪問看護ステーション 所長 大塚かすみ】

4月1日開設したばかりの私たち「あんず」松戸市で訪問看護を行うことは初めて…！そのため、まずは顔を知って頂こうと看護師3人で、松戸市内の事業所への挨拶まわりをしています。

病院・診療所・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・居宅等々…。本当に松戸市内には沢山の医療機関・介護関係の事業所があることに驚いているとともに、いろいろ勉強させて頂いています。松戸市の現状や看護師への要望などなど…。事業所の皆さんの多くから、「24時間やるの?」「松戸市内全域?」「小児も?」「精神も?」「リハも?」と期待を含めた、ウェルカムな反応を頂けて、大変うれしく思っています。少し無茶な広報しているのでは…と心配してくださる方もいますが、基本的に地域を支えるってそのくらいの覚悟が必要かなって思っています。地域にはいろいろな人がいて当然ですからね。

私の訪問看護の理念としては、何かに特化した訪問看護ではなく、地域の方々丸ごとと関わっていきたくって思っています。要望に合わせて、看護師やセラピストを増やしていけばいい…私たち訪問看護ができない所は、他のサービスや地域の力を借り、連携し助けあえるような地域の輪を作りたい…それが幸樹会の理念でもあります。松戸市にはその素地が十分あると確信しています。

皆さまと give and take な関係を構築し継続していくためには、私達がまず実力をつける必要がありますので日々勉強し、魅力ある「あんず」を作っていこう！頑張るぞ!!と意気込んでいます。

「看護師さん忙しいのにわざわざ…」「看護師さんへの発言は遠慮しちゃいます…」など、少し距離を感じていらっしゃるケアマネさんの声も聞きますので、親しみやすい「あんず」目指して、こまごまご連絡させて頂いたり、ちょくちょくご挨拶にも伺うので今後ともよろしくお願いいたします。なにかご連絡できることがありましたら、いつでもご連絡ください！

初めての訪問看護

【あんず訪問看護ステーション 村里恵】

私は、あんず訪問看護ステーションに入って初めての訪問看護の仕事をしました。経験者の他看護師二人が、利用者さんの状態を聞いたらすぐに、いろいろなことを予測して、てきぱき動く姿に感動しました。

また、利用者さんともしっかりと向かい合って、お話を聞き、必要なケアを考えていく過程は、理想としていた看護で、とても感動しています。今まで勤めていた外来での看護とはずいぶん違いますが、とまどいつつも、とてもやりがいを感じています。

今月は、市内のいろいろな所にご挨拶に行かせてもらいました。医師やソーシャルワーカー、ケアマネジャー、ヘルパーさんをはじめ、地域包括センターや、訪問看護ステーション、地域でたくさんの方々が市民の生活を支えてくれていることを知り、ありがたいことだなと思いました。

今のところ、二人の先輩についていき、初めて見ることに驚き、感動してばかりの毎日ですが、利用者さんに安心していただける看護が届けられるように頑張ります。

中野食堂はじめました

【幸樹会 理事長 中野三代子】



不定期で、少しだけ料金頂きますが、お近くの方いつでも遊びにきてくださいね。

我が家の介護体験記

【あんず訪問看護ステーション 副所長 奥村万里子】

一昨年祖母が自宅で亡くなりました。悪性リンパ腫でした。私の実家は、母方の祖父母と7人家族で、祖父母は畑仕事をしていました。祖母は、人と話すことが大好きで、私の友達もよく祖母のことを知っていました。

祖母は数年、手術や抗がん剤、放射線治療を続けてきましたが、再発後は効果がなく、余命3か月と言われ、在宅療養を決めました。祖母は「家には帰りたいが、まだ治療があるはず」と納得はしていないようでした。それでも体力は確実に落ちており、前回の抗がん剤では起きることも出来なくなっているような状態でした。退院時には、母のヘルパー時代の知り合いの訪問診療医と訪問看護師にお願いし、退院前カンファレンスを行い、1週間に1回ずつ来てもらう予定で、在宅療養が始まりました。

自宅に戻ってからの祖母は、「具合悪いと心配されるのが嫌」で、友達をよんで食事会をしたり、毎日日記を書いて「がんよ飛んでけ〜！」と拳を突き上げたりして、生きる気力に溢れていました。また体調のいい日は、畑のトマトの苗を見に行くなど、作物の成長を確認して過ごしていました。退院時、治療がないことには納得していませんでしたが、徐々に体力が低下していく中で、家族の予想に反して、抵抗なく訪問入浴などのケアをうけていた状態でした。

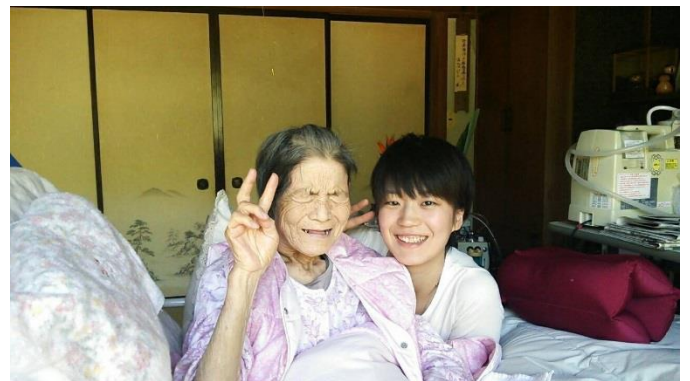
実際の家族の介護状況はというと…喉のリンパが腫れて食べ物が通らなくなっている祖母に、母は少しでも栄養のあるものと、もち米をミキサーで潰して食べさせる、ハーゲンダッツのアイスを食べさせるなど、色々工夫していました。祖父は夜トイレに行きたいとブザーをならす祖母を抱えて連れて行ってくれていました。父や姉は祖母の食べられそうなものや好きなものをいろいろ考えて買ってきてくれました。

亡くなる10日ほど前からは、氷をなめることしかできなくなったので、連日訪問看護師が来て、数回点滴をしたり、母がとりきれない痰の吸引を手伝ってもらっていました。母は、支えてくれた医師や看護師、ケアマネやヘルパーたちについて「おばあちゃんの話

をゆっくり聞いてくれたし、私の不安や葛藤も聞いてくれた。それに電話したらすぐ医師や看護師に相談ができて、何かあれば看に来てくれるのがとても心強かった。」と話しています。田舎あるあるですが、訪問指導にきてくれていた薬剤師は、祖母の友達の姪。ベッドなどのレンタルの担当者は、私の中学の先輩…と、つくづく人のつながりに支えられているなあということを実感していました。

祖母の最期は、亡くなる前日から泊まっていた私の弟が看取りました。実は弟も看護師なので、死亡診断後、弟が祖母の身体を綺麗にしてくれました。弟は病院での看取りは経験していても、身内の看取りはこたえたようで、精神的なショックは大きかったようです。

今改めて母にこの時のことをどう思うか聞くと、「在宅療養の正解はわからないけど、病気の時期が長かったから心の準備はできていたね。子供たちが看護師だったのも助かったし、関わった方たちのチームワークに支えられた。」と話しています。私たち家族もこれが正解かどうかはわかりませんが、うちはこれで良かったと思っています。祖母と私です v(^ ^)v ↓



在宅療養



住宅改修

在宅介護を受けるようになったとき、または介護をする側になったとき、

「この段差がなければ車いすの移動がスムーズになるのに」「様式便座の方が立ち上がるとき楽なのになあ」という思いをしたことはありませんか。

若いころは何の不便もなく使っていた我が家でも、年を重ねるうちに立ち上がり時の負担や転倒の危険などが出てくる場所があるかもしれません。

かく言う我が家も、祖母の介護のため、お風呂とトイレなどのリフォームをしました。そのとき、利用させていただいたのが、介護保険制度の住宅改修費支給制度。どのような制度か？というと、まず【対象となる方】は、①介護保険の要支援1～要介護5の認定を受けている方。②自宅で生活されている方です。

【対象となる住宅改修の内容】は、①手すりの取り付け②段差の解消③滑りの防止及び移動の円滑化等のための床または通路面の材料の変更④引き戸等への扉の付替え⑤洋式便器等への便器の取替え⑥その他①～⑤の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修です。

そして【支給限度額】は、20万円までの9割を給付。20万円以内であれば何回かに分けて利用することも可能。＊転居した場合や介護度が3段階以上上がった場合はリセットされ、再度使用が可能になります。

【住宅改修の手順】は、①ケアマネジャーに相談②事前の申請（必要な書類の準備）③申請の審査通過④工事施工⑤工事後の申請⑥住宅改修費の支給となります。

詳しくは、松戸市のホームページまたは、松戸市役所福祉長寿部介護保険課給付班に確認してみてください。（お住まいの地域の市役所で確認してください）介護ショップからたちにもご相談いただけます！

あんず訪問看護ステーションって？

【対象者】介護保険・予防介護・医療保険
子供から高齢者、最期を迎える時まであらゆる疾病の方を対象とします。医療処置がある方も、在宅で行えるものに関しては、基本的にはすべて対応させていただきます。

【体制】看護師常勤3名。24時間対応します。

【事業所番号】1262490415

【地域区分】6級地

「こういう状態だけど受けられるかな？」「体制的に大丈夫かな？」など気になることがございましたら、いつでもご連絡ください。職域をこえて、顔の見える連携を心掛けていきたいと思っています。ま

だまだ小さい事業所で、勉強不足なところもございますが、ご指導・ご連携いただき、成長していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

定期勉強会

●前回報告 4月17日（金）実施、
テーマ「経営管理論の歩み概要①リーダーシップ論」 講師 武井幸穂。

【参加者感想】「論理の成り立ちの歴史を知ることにより理解が深まった」「リーダーシップの二次元モデルについて、リーダーが放任しすぎても締め付けが強すぎても生産性のアップにつながらないというさじ加減のむずかしさがあるなあ」と日々感じている」

●次回学習会予定 テーマ「経営管理論の歩み概要①リーダーシップ論パート2」、
日時：5月15日（金）、18：30～19：30
場所：ハーレ・ヨシ102号
＊参加希望申し込みや内容については、本部までお問い合わせください。（連絡先は下記記載）

ブログもあります

- からたち薬局
<http://ameblo.jp/karatachi-p/>
＊「からたち薬局 ブログ」で検索できます
- あんず訪問看護ステーション
<http://ameblo.jp/anazu-kouju-kai/>
＊「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

一緒ににはたきませんか！？

看護師・薬剤師・ケアマネジャーの資格がある方お待ちしています☆

詳しくは、本部へお問い合わせ下さい。
連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子
住所：千葉県松戸市河原塚 411-1-102
TEL：047-701-7550
E-mail：miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

編集後記

今回は、訪問看護ステーションのスタッフの声を主に届けさせていただきましたが、今後は地域の皆さんの声もどんどん載せていきたいと思っています。また安心して住み続けられる地域であるためには？という視点で、介護保険や訪問看護などの情報を発信していきたいと思っています。（奥村万里子）